



水俣での学びを大切に

1月30日(金)、5年生が「水俣に学ぶ肥後っ子教室」に参加しました。水俣病資料館等の見学を通して、水俣病とは何か、なぜ起こったのかを学びました。また、語り部の方から直接お話を聞き、当時の苦しみや思いに触れる貴重な学習となりました。子どもたちは、差別や偏見に出会ったときの向き合い方や、環境を守るために自分にできることを考えることができたようです。今後は事後学習にも取り組み、学びを日常生活に生かしていきます。

上天草市立中南小学校 学校だより

みなみ風



令和8年2月17日 No.17 校長 中本 青志



冬のあそびで広がる なかよしの輪

1年生生活科「冬のあそびを紹介しよう」の学習で、子どもたちが作ったこや風車を使い、「あそか保育園」の園児を迎えました。学校探検で校舎と一緒に体験した後、運動場で元気にあそびました。声をかけ、手を引き、順番を譲るなど、1年生がお世話をする姿が随所に見られ、確かな成長を感じる一日となりました。園の子どもたちの笑顔に1年生も自信を深め、学び合う温かな交流となりました。来校ありがとうございました。



運動場で生活科で作ったおもちゃを使って遊びました



あそか保育園から遊びに来てくれました

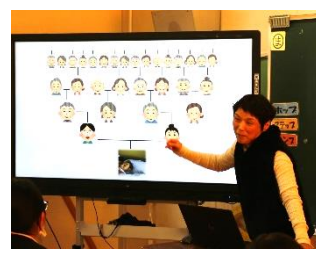


1年生がリードして学校を探検



命の大切さを学ぶ性教育の学習

本校では、子どもたちの発達段階に応じた性教育を、各学年で計画的に実施しています。6年生では「ゆずりうけた命」の学習で、健康サポートふんわり風～FU～代表の杉田ひとみさんを講師に迎え、命の誕生の仕組みや、自分が多くの人の支えの中で生まれてきた大切な存在であることを学びました。



家族をはじめ多くの人たちのつながりの中で、大切に育まれてきたことにも気付きました

また、3年生は養護教諭の中村先生と「わたしのたん生」を学習し、保護者からの心のこもった手紙を読みました。涙を浮かべながら一文字一文字を大切に読む姿も見られ、命の尊さと家族の愛情を実感するあたたかな時間となりました。

これからも、命を大切に作る心を育む教育を大切にしていきたいと思います。



手紙からお母さんのあたたかい思いにふれ、命の尊さと家族の愛を心で感じる、あたたかな時間となりました

心を一つに 長縄チャレンジ！

天草郡市小体連主催『長縄大会 CHALLENGE 2025』に向け、全校で長縄跳びを行っています。朝の活動ですが、子どもたちの熱気であたたかく感じます。各学級が声を掛け合い、息を合わせて跳ぶ姿に、毎朝の練習の積み重ねと成長を実感しました。結果だけでなく、挑戦する過程や仲間を思いやる姿勢を大切にしてほしいと思います。



気持ちのよい朝の姿

登校後、サッカーが大好きな子どもたちは、元気いっぱい校庭で遊んでいます。本校では、ボール遊びができる日を月・水・金の週3回としています。先日、ボールを使えない日に、子どもたちが、いつも遊んでいる場所にブラシをかけ、砂をならして整地してくれていました。「また気持ちよく遊べるように」と考えての行動だったようです。誰に言われたわけでもなく、自分たちで気づき、行動する姿にとっても感心しました。思いやりと主体性が育っていることを、うれしく感じた朝のひとつでした。



校長からの言葉

「夢を持つこと 夢に向かって努力すること」

羽生結弦 選手(はにゅう ゆずる)
フィギュアスケートの選手

羽生結弦さんは、オリンピックで2回金メダルをとったフィギュアスケートの選手です。けがや思うようにいかないことがあっても、あきらめずに努力を続けてきました。

今、イタリアで行われるミラノ・コルティナオリンピックに向けて、世界中の選手たちが夢を追いかけています。

みなさんも、「できるようになりたい」という気持ちを大切に、毎日の学習や運動に取り組んでいきましょう。

小さながんばりの積み重ねが、必ず大きな成長につながっていきます。